



## 不織布の特性を活かし住宅関連資材生産開始

不織布・フェルト製造販売業。8年ほど前より、「スパンボンド不織布」の製造を開始、「住宅資材関連」を製造している。近年は中国にも進出するなど、業容を拡大している。

### 業況等の動向について

#### 本業の動向について

文化14年(1817年)創業。当初は製織・紡績を手掛けていたが昭和38年より不織布の製造を開始。その後紡績部門を閉鎖し、平成元年以降はインテリア・アパレル・車両・家電用途に広く対応した商品展開を行う。

現在はパンチフェルトの製造を主力に手掛けており、地元の有力量者として企業基盤は備わっている。また、平成7年には中国に関連会社を設立し、アパレル向け不織布の製造販売を開始、近年は車両・家電等の業容を拡大している。

業況としては売り上げ全体で見れば良くも悪くもなく横ばいである。2011年は、短期間ではあるが自動車資材などが自動車業界の不調で影響を受けた。日用雑貨などは大きな減少はない。

#### 異業種参入事業の概要

平成15年にスパンボンド不織布の製造を開始、住宅資材関連資材を製造している。スパンボンド不織布は、水を全く吸収せず、汚れにくく、保温性に富んだ素材で、高い強度と寸法安定性を持っており、防音・防震・断熱材等に適している。

業況については良くも悪くもなくというところである。

新規参入事業に関しては、現在、売上高は235,000千円(売上高構成比11.0%)である。2008年のリーマンショックの影響は大きい。住宅の新築が減少しているなどで、住宅関連が不調の為、苦戦をしている。

#### 異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

設備メーカーから事業継承したのを機に、5~6億円の設備投資をして機械と工場を新設した。

#### 参入して最も成果のあったこと

取り扱い製品が拡大できたこと、取引先などの客層が増えたことが挙げられる。

#### 参入して最も困難だったこと

設備投資額が多かったこと。

#### 今後の展望・見通し

住宅市場の環境次第であるが、良くなれば伸ばす考えでいる。

#### メリット・デメリット

メリットは、あまり感じていない。

デメリットとは、リスクは当然ある。予測のつかないことがおきる。コストダウンばかりを要求され、市場も世間も新商品を要望していない。

#### 異業種参入時のアドバイス

自社の体力(財務力や技術力)以上のことはしてはいけない。無理はしてはいけない。時期の判断が重要である。

### 行政の支援について

異業種参入に際し、行政に対して望む支援  
利用できるように支援や制度が見当たらない。

#### 会社概要

設立:昭和5年  
資本金:4,500万円  
従業員数:65名  
URL:<http://www.tsujitomi.com>